



---

# BUSINESS REPORT 2022

---

2022年3月期 期末報告書  
2021年4月1日～2022年3月31日

**YSK**  
焼津水産化学工業

「顧客に支持される食品メーカーへ」を経営ビジョンとして、  
顧客の信頼回復に繋がる安心安全な製品の  
安定供給の実現に取り組んでいます。

代表取締役社長 山田 潤

### 当期の事業の概況

当社グループでは、中期経営計画「Create Next YSK」の最終年度にあたり、「顧客に支持される食品メーカーへ」を経営ビジョンとした取り組みを進めてきました。具体的には、i. 顧客の信頼回復、ii. 品質保証体制の抜本的見直し、iii. 差別化とフィールド拡大による成長、iv. 海外事業のステージアップに向けた体制作り、v. 新規事業育成に向けた体制作り、の5つの基本戦略を推進してきました。海外事業については、海外事業本部内に海外事業推進部を新設し、ASEAN地域の需要を取り込むための拠点設立に向けた動きを進めてきました。また、2019年11月18日付で公表した不正表示問題に関する再発防止策の1つである原料管理に係るシステムは掛川工場で先行導入・運用開始し、2022年3月に焼津、大東各工場でも導入を完了しました。当該システムを含む再発防止策は各種施策の有効性を常に確認するとともに、継続的に見直しを行うことにより、安全・安心な製品の安定供給を継続し、顧客の信頼回復に取り組んできました。その他、更なる“食の安全・安心”に向けた活動を進め、掛川工場以外の工場においても食品安全システム認証「FSSC22000」を取得すべく取り組みを進め、2022年5月までに大東工場、焼津工場、団地工場の全工場で認証を取得いたしました。人・組織機能の強化においては、人事制度の改定と定着を図るとともに生産年齢人口の減少やワークライフバランスの推進等への対応として、教育・研修の充実やIoT及びロボット化の活用による生産性向上に向けた取り組みを進めています。

連結売上高につきましては、長引くコロナ禍の影響により営業活動への制限が続くなか、顧客ニーズに合わせた製品案内やWebを活用した商談等に取り組んだものの調味料セグメントの売上高が減少し、収益認識会計基準等適用の直接的な影響のほか当該基準等適用導入を踏まえた一部取引先との契約の変更による間接的な影響もあり、121億19百万円（前年同期比21億93百万円、15.3%減）となりました。なお、収益認識会計基準等適用の直接的・間接的影響を除くと実質的には若干の減少（同1億78百万円、1.4%減）であります。利益面につきましては販売費及び一般管理費の削減に努めたものの売上高の減少や原材料価格、燃料・動力費等の上昇並びに新型コロナウイルス感染症第6波の影響等により、特に当第4四半期連結会計期間における利益が伸び悩み、連結営業利益は5億99百万円（同95百万円、13.7%減）となりました。また、連結経常利益は、6億52百万円（同71百万円、9.9%減）となったほか、投資有価証券の一部を売却したことに伴い投資有価証券売却益4億77百万円を特別利益に計上したことなどから親会社株主に帰属する当期純利益は7億57百万円（同5億7百万円、202.8%増）となりました。



なお、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号2020年3月31日）等を当連結会計年度の期首より適用しております。また、水産物セグメントで、当社の子会社であるマルミフーズ株式会社が行っているOEM加工において、一部取引先との契約の変更を行い、売上高と売上原価を計上してきた従来の方法から、当該取引先との2021年4月1日以降の取引は、加工代相当額のみを収益として計上しています。

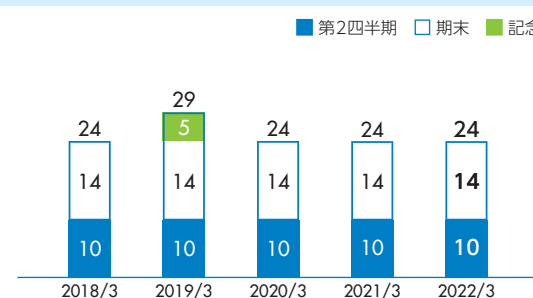
## 配当について

当社は、株主に対する利益還元を経営の最重要課題の1つとして位置付けております。利益配分につきましては、時代のニーズに対応するために研究開発、生産、市場開拓等への投資を進める一方で、配当性向を勘案しつつ継続的に安定した配当を実施することを基本方針としております。当事業年度の期末の配当金につきましては、株主の皆さまの日頃のご支援にお応えするため、1株につき14円とさせていただきます。これにより、当期の年間配当は1株につき24円となります。

株主の皆さまにおかれましては、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 配当金推移

(単位：円)



## 新中期経営計画

当社グループは「価値創造の加速」をビジョンとして2022年4月から2025年3月までの3カ年中期経営計画を策定しました。

これらの4つの基本戦略に基づいた施策により、2025年3月期（最終年度）の連結売上高145億円、連結経常利益8.5億円、ROE5.0%以上の達成を目指します。また、「資本効率の追求」を重要な経営課題と捉え、キャッシュアロケーションとして3カ年を通じて人材・設備への投資：35億円、株主還元：20億円、新規事業分野への投資：5億円を実施することなどで企業価値の向上を図っていきます。ビジョン達成に向け、グループ一丸となって活動していきます。

### 基本戦略

- (1) 安全・安心の向上：新たな価値創造に向けた品質保証体制の確立
- (2) 国内事業（調味料・機能性の強化）：特定市場の深掘りによる調味料事業分野におけるシェア拡大、マーケットインによるオリジナル素材の積極的な商品投入
- (3) 海外展開の加速：ASEANと米国に向けた積極投資
- (4) 新たな事業分野創出：スタートアップとの協業、M&Aを活用した事業分野の拡大

(単位：百万円)

	2022年3月期 (実績)	2025年3月期 (目標)	増減
連結売上高	12,119	14,500	+2,381
連結営業利益	599	850	+251

## TOPICS

## 食品安全マネジメントシステム FSSC22000を全工場で取得しました

当社は、大東工場、焼津・団地工場において、食品安全マネジメントシステムの国際認証規格である「FSSC22000」の認証を取得し、既に取得済みの掛川工場と併せ全製造拠点での認証取得を完了いたしました。

当社はこれまでに、品質向上と食品安全の確保のため、ISO 9001の認証取得や品質保証体制の見直しなどを進めて参りましたが、食品安全に対する取り組みを今まで以上に強化するため、2018年の掛川工場に続き2022年5月までに全生産拠点でFSSC22000の認証取得を完了しました。今後当社は、FSSC22000システムを活用し、今まで以上に安全・安心な製品の安定供給を実現して参ります。

## TOPICS

## 2023年3月末を基準日とする 株主優待制度が一部変更になります

2022年4月の東京証券取引所の区分見直しや当社の株主優待制度の状況等を踏まえ、来年2023年3月31日を基準日とする株主優待から制度を一部変更いたします。

保有株式数基準の変更及び継続保有期間条件の撤廃を行っています。

### <変更後の株主優待内容>

3単元以上

株主優待カタログより1品贈呈

10単元以上

株主優待カタログより2品贈呈

## CSR

### ■静岡県立こども病院に 寄付



当社は、これからの未来を支えることもたちのための最初の取り組みとして、地元静岡県でこどもに特化した治療を担っている「静岡県立こども病院」へ寄付を行いました。この寄付は、病院内のこどもたちの環境改善の取り組みに活用されることとなっております。

### ■学童保育に通うこども たちに飲料をお届け



学童保育支援のために、今年も本社のある焼津市小川地区の施設3ヶ所へ飲料をお届けしました。

### ■焼津市の海岸清掃活 動を実施



本社のある焼津市で定期的に海岸の清掃活動を行っています。

今期は11月に実施し、20名を超える社員が参加しました。

天然調味料の製造

調味料の受託加工

売上高構成比

53.0%

## 調味料

売上高

64億 29百万円

前年同期比

5.5%減

セグメント利益

4億 84百万円

前年同期比

15.4%減

外食向け調味料販売の減少を主因として減収となりました。利益は、売上高減少に加え、原材料価格、燃料・動力費等の上昇などが影響し、減益となりました。

## 天然調味料

カツオエキス 昆布エキス エビエキス  
カニエキス オイスターエキス etc.

機能性食品素材の製造

健康食品の通信販売

機能性食品の受託加工

売上高構成比

22.7%

## 機能食品

売上高

27億 50百万円

前年同期比

1.3%増

セグメント利益

6億 71百万円

前年同期比

1.7%減

健康食品の通信販売など機能食品は苦戦が続きましたが、機能性食品素材のアンセリンが堅調に推移し、増収となりました。利益は、売上構成の変化により減益となりました。

## 機能性素材

N-アセチルグルコサミン アンセリン フコース  
マリンコラーゲン フコイダン テアフラビン etc.

水産物の問屋業

倉庫業

水産物の加工

売上高構成比

15.8%

## 水産物

売上高

19億 9百万円

前年同期比

49.0%減

セグメント利益

44百万円

前年同期は

損失0百万円

製品価格の改訂や海外販売に注力し、売上増強を図りましたが、収益認識会計基準等の影響を受け、大幅な減収となりました。利益は、加工業務の内製化や尾切選別の強化等により増益となりました。

その他商品

化粧品通販事業

売上高構成比

8.5%

## その他

売上高

10億 29百万円

前年同期比

2.2%減

セグメント利益

33百万円

前年同期比

10.6%減

その他商品の販売が減少し、減収減益となりました。

※上記における各分野のセグメント利益は配賦不能費用（635百万円）控除前のものです。

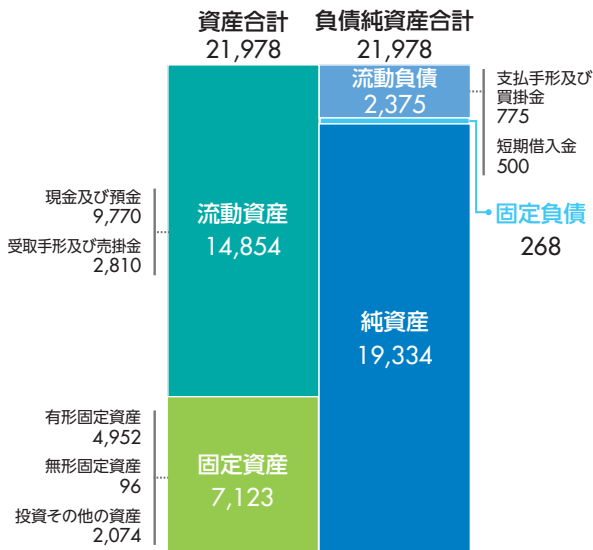
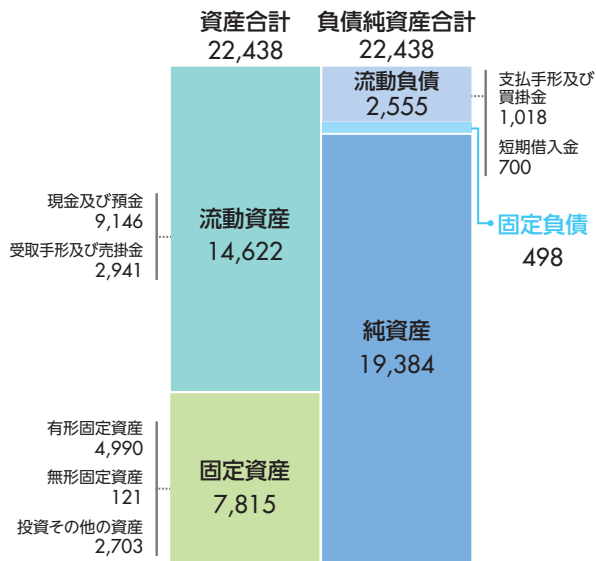
# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表の概要

(単位：百万円未満切り捨て)

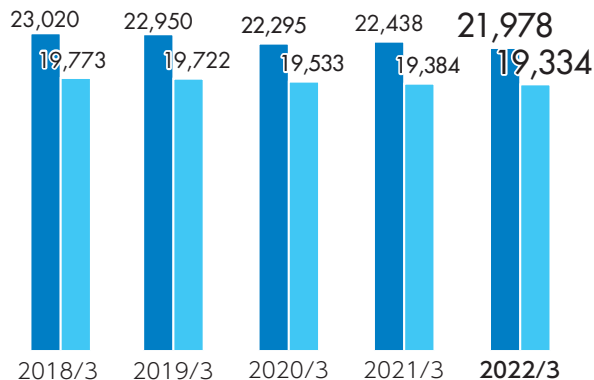
前期 (2021年3月末)

当期 (2022年3月末)



● 総資産 ● 純資産

(単位：百万円)



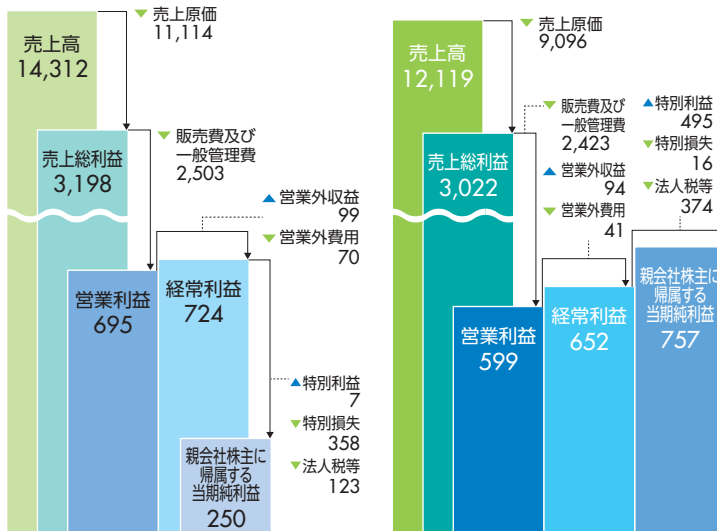
- 当期末における総資産の総額は、前期末に比べ4億59百万円減少し、219億78百万円となりました。
- 流動資産は、受取手形及び売掛金が1億31百万円、商品及び製品が1億11百万円減少した一方、現金及び預金が6億23百万円増加したこと等により2億31百万円増加し、148億54百万円となりました。
- 固定資産は、期中の減価償却が設備投資を上回り有形固定資産が38百万円減少したほか、保有株式の時価が下落したほか投資有価証券の一部売却等により投資有価証券が6億40百万円減少したこと等により6億91百万円減少し、71億23百万円となりました。
- 流動負債は、未払法人税等が3億58百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が2億43百万円、短期借入金が2億円、その他が1億47百万円減少したこと等により1億79百万円減少し、23億75百万円となりました。
- 固定負債は、繰延税金負債が2億45百万円減少したこと等により2億29百万円減少し、2億68百万円となりました。
- 純資産は、利益剰余金が4億71百万円増加した一方、その他有価証券評価差額金が5億26百万円減少したことにより50百万円減少し、193億34百万円となりました。この結果、自己資本比率は88.0%となりました。

## 連結損益計算書の概要

(単位：百万円未満切り捨て)

前期 (2020年4月1日～2021年3月31日)

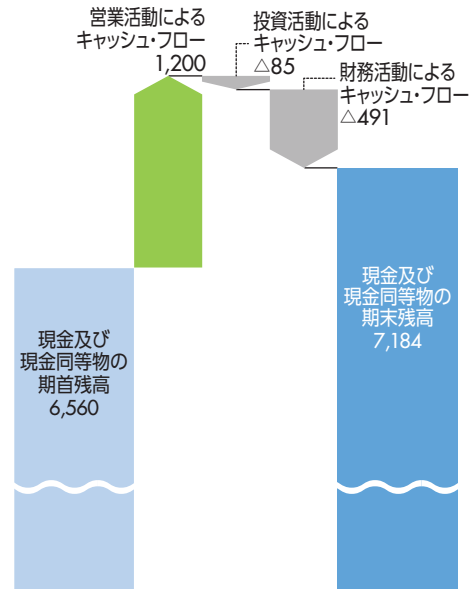
当期 (2021年4月1日～2022年3月31日)



## 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円未満切り捨て)

当期 (2021年4月1日～2022年3月31日)



- 連結売上高は、顧客ニーズに合わせた製品案内やWebを活用した商談等に取り組んだものの調味料セグメントの売上高が減少し、収益認識会計基準等適用の影響により、121億19百万円（前年同期比21億93百万円、15.3%減）となりました。なお、収益認識会計基準等適用の影響を除くと実質的には若干の減少（同1億78百万円、1.4%減）です。
- 利益面は、売上高の減少や原材料価格、燃料・動力費等の上昇等の影響により、特に当第4四半期連結会計期間における利益が伸び悩み、連結営業利益は5億99百万円（同95百万円、13.7%減）となりました。また、連結経常利益は、6億52百万円（同71百万円、9.9%減）となったほか、投資有価証券の一部を売却したことに伴い投資有価証券売却益4億77百万円を特別利益に計上したことなどから親会社株主に帰属する当期純利益は7億57百万円（同5億7百万円、202.8%増）となりました。

- 当期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は71億84百万円となり、前期末に比べ6億23百万円増加しました。
- 営業活動 増加した資金は12億円（前年同期比2億19百万円増）となりました。内訳としては、税金等調整前当期純利益11億31百万円、減価償却費4億15百万円、棚卸資産の減少額2億10百万円、売上債権の減少額1億31百万円等の増加要因に対し、投資有価証券売却益4億77百万円、仕入債務の減少額2億43百万円等の減少要因があります。
- 投資活動 減少した資金は85百万円（同1億39百万円増）となりました。内訳としては、投資有価証券の売却による収入5億79百万円等の増加要因に対し、有形固定資産の取得による支出3億74百万円、投資有価証券の取得による支出2億27百万円等の減少要因があります。
- 財務活動 減少した資金は4億91百万円（同2億16百万円増）となりました。内訳としては、配当金の支払額2億85百万円、短期借入金の減少額2億円等の減少要因があります。



## ■ 会社概要 (2022年3月31日現在)

商号	焼津水産化学工業株式会社
事業内容	天然調味料および機能食品の製造販売
資本金	36億1,764万円
創業年月日	1959年5月15日
取引銀行	静岡銀行/三井住友信託銀行
事業所	
静岡本部	〒422-8067 静岡県静岡市駿河区南町11番1号 静銀・中京銀静岡駅南ビル6F TEL.054-202-6030 FAX.054-202-6031
焼津本社	
営業所	東京、静岡、名古屋、大阪、九州
工場	静岡県内3工場(焼津・団地工場 大東工場 掛川工場)
連結子会社	●マルミフーズ株式会社 資本金 100百万円 当社の議決権比率 100% 主な事業内容 マグロ等の水産物の加工・販売 ●UMIウェルネス株式会社 資本金 50百万円 当社の議決権比率 100% 主な事業内容 健康食品・化粧品通信販売

## ■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
株主確定基準日	(1) 定時株主総会議決権行使株主 3月31日 (2) 期末配当金受領株主 3月31日 (3) 中間配当金受領株主 9月30日 (4) その他必要あるとき あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
上場金融商品取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 (〒168-0063)
同事務取扱所	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話番号 (0120) 782-031 [フリーダイヤル]
同取次所 公告の方法	三井住友信託銀行株式会社 全国各支店 電子公告 <a href="https://www.yskf.jp/ir/koukoku.html">https://www.yskf.jp/ir/koukoku.html</a> ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
株式に関する 各種手続きの お申し出先	(1) 証券会社経由で株式会社証券保管振替機構(ほふり)に株式がある場合 ▶株主様が口座を開いている証券会社 (2) 特別口座に株式がある場合 ▶三井住友信託銀行株式会社 お問い合わせは下記の証券代行部フリーダイヤル またはホームページをご利用ください。 フリーダイヤル (0120) 782-031 (9:00-17:00) ホームページ <a href="https://www.smtb.jp/personal/agency">https://www.smtb.jp/personal/agency</a>

※ 配当金領収証で配当金をお受け取りの株主様は、別紙「配当金口座振込サービスのご案内」をご覧ください。

## ■ ウェブサイトのご案内

当社のことをより深く理解していただくとともに、最新情報をタイムリーに提供することを目的に、IR情報や製品検索、研究開発情報、事業内容などをウェブサイトに掲載しています。ぜひご活用ください。



<https://www.yskf.jp/>



▲トップページ

UMIウェルネス  
オンラインショップ



オンラインショップで当社素材を配合した商品がお買い求めいただけます。

## ■ IRカレンダー

第1四半期			第2四半期		
4月	5月	6月	7月	8月	9月
	■5月上旬 期末決算発表		■6月下旬 定時株主総会	■8月上旬 第1四半期決算発表	
		■5月下旬 株主優待発送、 定時株主総会招集ご通知発送			9月末日 ■ 中間配当金 受領株主確定日
第3四半期			第4四半期		
10月	11月	12月	1月	2月	3月
	■11月上旬 第2四半期決算発表			■2月上旬 第3四半期決算発表	
					3月末日 ■ 決算日、期末配当受領株主確定日

UD  
FONT

